

2004東北ブロック会員報告会

2004 年東北ブロック協議会の事業報告会は 11 月 28 日仙台市駅前ビルアエル 30 階で開催されました。JTU (日本 triathlon 連合) ができて 10 年、今まで理事長・副理事長を務めてきた現体制を一新、新理事長に宮城県片桐勝一氏を、第一副理事長に山形県高橋伊万夫氏を第二副理事長に岩手県小野寺長男氏をそして第三副理事長には福島県高橋悟氏を選任した。なお、新しい役員名簿は次のとおり。また、西内洋行選手は活動を東北に移し、後進の指導も行い理事として招請された。

役 職	委員長	氏 名	所 属	〒	住 所
会 長		岩城 光英	福島県	973-8411	いわき市小島町 1-8-7 岩城事務所
副会長		蒲生 光男	山形県	993-0042	長井市平山 866
理事長	国体対策委員長	片桐 勝一	宮城県	983-0013	仙台市宮城野区中野字高松 69
第一副理事長	総務委員長	高橋伊万夫	山形県	999-3709	東根市大字六田 188
第二副理事長	強化委員長	小野寺長男	岩手県	024-0073	北上市下江釣子 14-97-1
第三副理事長	技術委員長	高橋 悟	福島県	979-1171	双葉郡富岡町大字大菅川田 193-2-7
常任理事		石川 則文	青森県	030-0952	青森市戸山赤坂 78-361
常任理事		遠藤 勉	青森県	030-0901	青森市港町 1-4-2
常任理事		小宅 錬	秋田県	010-1424	秋田市御野場 5-13-7
常任理事		川原谷 浩	秋田県	010-0044	秋田市横森 5-20-19
常任理事		小林 格也	岩手県	026-0021	釜石市只越町 2-3-4
常任理事	チャンピオンシップ	吉田 勝彦	宮城県	988-0868	気仙沼市関根 240-1
常任理事	メディカル委員長	川合 正和	山形県	999-2232	南陽市三間通 158-17
常任理事	指導者養成委員長	蓮沼 哲哉	福島県	969-6521	河沼郡会津坂下町金上字東村 84
理 事	普及委員長	森崎 俊紘	福島県	960-8204	福島市岡部字前山 26-1
理 事	環境委員長	志村 廣	宮城県	982-0001	仙台市太白区八本松 1-7-37
理 事	女子委員長	飯塚 美智	福島県	975-0018	原町市北町 341-65
理 事	広報委員長	加藤 寿	秋田県	018-4211	北秋田郡合川町川井字才ノ神 61-2
理 事		西内 洋行	福島県	985-0873	多賀城市中央 2-12-15

事務局長		吉田 勝彦	宮城県	988-0868	気仙沼市関根 240-1
------	--	-------	-----	----------	--------------

会員報告会に先立ち理事会を開催



シドニーとアテネの両 Olympic に出場した西内選手に特別賞を、東北ブロック協議会年間最優秀選手に菊池日出子を選出され岩城会長から授与された。同時に、ブロックサーキット戦の書くエイジ別優秀選手が表彰された。





サーキット戦で優勝の
アーサー選手がスピーチ



基調講演の和田環境対策委員長



会員報告介護は和やかに懇親会が開催された



魚の目で見える阿武隈川

森崎副理事長より、親子三人が行った阿武隈川を泳ぎ、こぎ時には歩き流されて上流から海に至るまで人が汚してきた川の実態の説明があった。話はリアルでしかも体験した人でなければ話せない貴重な体験報告会となった。Triathlon も環境を抜きには語れない時代の到来を印象付けた



30 階から見た風景